

## 令和5年度第1回文化財保護委員会会議録

日 時：令和5年5月23日（火）

午後2時45分から

場 所：金津本陣 IKOSSA 3階

市民文化研修センター 大ホール

（日程）

1. 文化学習課長あいさつ
2. 議題
  - （1）令和5年度文化財保護事業計画について
3. 報告
  - （1）令和4年度文化財保護事業報告について
  - （2）文化財保存活用地域計画の策定について
4. その他

（出席委員）

吉田 純一	水野 和雄	長野 栄俊
籾内 昭男	藤川 明宏	能美 進

（欠席委員）

川波 久志

（事務局）

文化学習課長 早見 孝枝	郷土歴史資料館館長 松永 都美
郷土歴史資料館副館長 九千房 英之	文化財専門調査員 車谷 航

【文化学習課長あいさつ】

【議題1】令和5年度文化財保護事業計画について

（事務局説明）

委員長：今の説明から、質問・意見等あるか。

水野委員：資料の「4. 埋蔵文化財」について、南稻越遺跡の発掘調査は誰が担当するのか。

事務局：当館館長補佐の橋本幸久が担当する。

水野委員：細呂木・笹岡向山製鉄遺跡の報告書の担当は。

事務局：館長補佐の橋本と、技師の橋本可奈とで担当する。また、6月に入る会計年度職委員にも担当してもらおう。山室下向遺跡の報告書作成については、技師の橋本が主担当であるが、産休に入ることにもない、会計年度職員に移行する予定である。

水野委員：遺物整理等は大丈夫なのか。

事務局：現在の一人に加え、もう一人入る予定である。

委員長：資料調査について、昨年から願慶寺に調査に入っているとのことだが、その中間報告については考えているのか。

事務局：現在、半分強しか進んでおらず、中間報告については考えていない。これから3回は調査に入る予定。市の指定に持っていくための調査である。

委員長：文化財の説明版について。金津町からあわら市へ移行したことによる説明版への変更は終わっているのか。どのような割合で進んでいるのか。

事務局：現在、16、17か所が完了している。記念物を中心に進めていく。本来であれば、新幹線開業までに完了まで持っていきかけたが、今後、地域計画との兼ね合いで財政も変わってくるかもしれない。

## 【報告】

### (1) 令和4年度文化財保護事業

#### (事務局説明)

委員長：井江葭の椎の木について教えてほしい。

事務局：井江葭の社叢林のことである。木の内部に空洞ができていて、それが今回の雪の重みで倒壊した。

水野委員：それは市の指定か。

事務局：はい。市の指定である。

委員長：未指定文化財の調査について。これは仮調査か、あるいは報告書作成まで見据えた調査か。

事務局：報告書を出す予定はない。あとは、地元から要望が出されたもので、調査レポートを作成してお渡しする方針である。

委員長：地域計画とかかかわっているので、お願いしたい。

水野委員：赤色レーダーでは、古墳は写るのか。

事務局：赤色レーダーの写真データについては、県の森づくり課から提供してもらった。横山古墳群を見てみたところ、見たことのない古墳が数基あったので踏査した。

水野委員：菅野・矢地山古墳（タコ山古墳）などは新しい発見なので、保護するためにも、県へ進達してほしい。

事務局：現在、橋本補佐が準備している。

(2) 文化財保存活用地域計画の策定について

(事務局説明)

委員長：計画策定の準備として、あわら市関係の文献資料などの精査は、事務局が中心となって進めていかないといけない。

事務局：もちろんである。

委員長：地区に情報を求めても、専門的な情報は上がってこないなので、アンケートなどを行う場合は、うまく誘導する必要がある。

事務局：わかりました。石造物や自然系のものを多く調査していきたい。

水野委員：地域計画は何を目指して策定するのがよくわからない。また、どのような手法で行っていくのか、他の市町ですでに報告書が出ているのであれば参考にして、あわら市独自のものを作成していかないといけない。

事務局：現在、準備を進めている。

藤川委員：計画策定にあたり、寺社は悉皆調査していく方針か。

事務局：そのように調査したいが、なかなか難しい。少しずつ調査を重ね、順次調査を追加していくつもりである。

藤川委員：調査期間はどのように考えているか。

事務局：今年9月以降、来年10月までで考えている。

委員長：文化財の分野ごとでもあわら市全体で悉皆調査したことはあるのか。それがないと大変だ。

事務局：集落カルテがあるので、それから文化財関係の情報を集めていく。また、県で行った民俗調査のデータがある。ただし、金津地区しかなく、全市域をカバーするものではない。

委員長：文化庁からは、文化財全体からうかがえる物語（ストーリー）を作るよう要望がある。その場合、あわら市にはどんなものがあるのか。

事務局：市域の東部に点在する古墳群はひとつのファクターとなると考えている。また、坪江・河口荘や蓮如、北陸道などは重要な視点となりうる。また、計画策定にあたっては、地区の人たちからの要求を吸い上げていきたい。地区の人たちが文化財に興味を持ち、後世に伝えていくことを目標とする。地元の人が動けるようにする。

水野委員：コンサル業者の入札は完了したのか。

事務局：完了した。

水野委員：国庫補助金はとっているのか。

事務局：今年度は全事業費50%の補助がおりている。

委員長：いかに地区とコンサルを抱き合わせていくかが重要となってくる。その間を事務局が取り持たないといけない。

事務局：地元と接点を持ちながらやっていきたい。

委員長：文化庁はそれぞれの市の立場に立って親身にアドバイスをくれるので、逐一相談するといいと思う。もちろん、県とも密接に連携してほしい。

委員長：何か他に質問はありませんか。ないようなので、議事を終了します。